

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」岡山福富校		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日 ～ 2025年 12月 29日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日 ～ 2025年 12月 29日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月21日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ニーズに応じて個別、小集団、集団と形態を変えて支援が行えるところ。	支援の中で粗大運動と発達に着目して、支援の中で具体的なデータを取得して専門家と連携しながら効果を調べている。	現在は集団療育は児発がメインだが、放デイも個別だけでなく小集団の療育を試みます。
2	事業所の支援の時の様子だけでなく、小学校や園での様子も見学や担任の先生と連携をとり、複数のシーンでの課題を掌握して課題設定をしている。	個別の支援の内容を毎日ミーティングで共有しています。見立てを複数の目で行うことで、必要な課題に気づきやすいように工夫しています。	担当者会議にも出席しながら、利用者だけでなく、学校や相談員さんからの要望にも出来る限り応えられるように努めます。
3	児発から小学校低学年の方が多く利用されており、複数のパターンのデータが集まっており、小学校就学に向けての支援が得意である。	就学時の保護者の不安感にも丁寧に寄り添うように努めています。	内部や外部の専門家と連携して支援の効果のデータを取りながら効果を調べていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所に小部屋がなく、広い空間をパーティションで分けて支援を行っているので、音が気になり集中しにくい環境である。特にタ方が込み合う。	児発のお子様はなるべく早い時間で案内するが、最近は働かれている保護者の方が多く、どうしてもタ方の利用が込み合う。	音への過敏さが激しくなければ、ある程度の音の中で支援を取り組むことも日常の中にあると想定して、音に慣れてもらう。
2	運動の支援を行う時に、空間の広さが十分でない。	ボディーイメージに課題のあるお子様が多くいるが、事業所開所当時に想定出来てなかった。	大きく体を動かす時は集団で行い、部屋にあるものを別の部屋に撤去して行う。
3			

## 公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

公表日

2026年2月14日

事業所名

こどもサポート「きらり」岡山福富校

利用児童数

26

回収数：

15

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	3	1	0	子供の特性を理解していただ いていて、十分確保していた でいます	限られたハード面なので十分対応出 来てない面もあるかと思いますが出 来る限り配慮させて頂いています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	12	0	0	3		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	2	1	1	子供の特性に応じて対応し ていただいています	過ぎしにくいことがあった時 は、どうしたらいいか話し合 いながら理想的な環境になる ように努めます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	2	0	0	シンプルな空間で一人一人配慮して いただいています 冬季の暖房はもっと弱めが良いかもし れません。冷房はいつも24くらいで快 適だと思います。	室温は個人差があり皆が快適な温度が設定 しにくいので、訴えがあった段階で設定し なおしをしています。気になったらお声か け下さいませ。
適切 な支 援の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	1	0	0	子供の苦手をカバーできるよう な、専門性のある支援を受けてま す こちらが悩み事を相談する形で特 性に応じた支援がある。	支援を通してお子様の特性を的確に 把握できるように努めています。 保護者のお悩みに対しても、出来る 限り対応させて頂いています。
	6	事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか	14	1	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。	14	1	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10	2	1	2		主に家族支援では事業所内での 相談、移行支援では通っている 園との連携をさせて頂いてま す。ご不明な時は説明させて頂 きます。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14	0	0	1		
	10	事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	1	0	1		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6	4	2	3		事業所の枠を超えて保育所やこども 園単位での交流は実施しにくい状況 です。イベント時に交流できるよう に声をかけていきます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14	0	0	1		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング（※5）等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	2	2	1		ペアトレの研修を提供できる ように努力します。

保 護 者 へ の 説 明 等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	14	0	1	0		出来る限りお話ができるように努力します。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	1	3	0		出来る限りお話ができるように努力します。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14	1	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	5	1	1		イベントの時に保護者の交流や兄弟の交流が叶うように努力します。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	1	3	0	保護者会はないですが、保護者同士の意見交換の場は先生を通じて行われました。有意義の時間になりました。兄弟を交えてのイベントは、娘が自分の場所だという意識が強いので、なるべく参加しないようにしています。	全ての方の対象ではなかったですが、テーマに沿って保護者会も開催させて頂きました。今後も継続して開催していきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	4	2	2	7	なかなかHPを見る機会がないのでわかりません。すみません。	ホームページにてブログの発信をしておりますので、ご覧になってみて下さい。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	1	0	2		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6	2	1	6		全てのマニュアルをファイリングして靴箱の上に設置させて頂きます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5	1	1	8	避難場所の掲示はありますが、子供の支援中に訓練はないのでわかりません。	全ての方の避難訓練が出来てませんが数名ずつ実施していきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	2	0	3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6	1	2	6	そのような状態になったことがなく、わかりません。	事故、怪我のあった時は迅速に対応できるように努めます
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	14	1	0	0	イベントなどがある時に、通っている教室の時は落ち着いてできていると思います。	イベントの時はいつもとは違う環境なので、見通しがもてるように繰り返し説明させていただいています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	14	1	0	0	毎週楽しみにしています。	ありがとうございます。そういつて頂けるように頑張ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14	1	0	0	就学に向けてしっかり支援しています。ありがとうございます。ありがたいです。	ありがとうございます。今後もしっかり支援させて頂きます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」岡山福富校					公表日	2026年 2月 14日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・離席しがちなお子さんに対してはブースの位置を奥の部屋にするなど、毎日環境設定を職員間で協議している。 ・ワンフロアであるが、パーテーションなどの仕切りを使用して個室の空間を設定している。 完全な個室はないため、静養室を作ることが難しい。 ・ニーズに応じて部屋割を工夫していている。 個別、小集団、集団、と展開できるようになっている。				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・誰かが突発的に休んでも誰でも支援ができるよう指導員調整・利用者保護者との関係づくりをしている。 ・事業所内の職員間で協力し合っている。				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・知らない情報をとっている。チラシなどを壁に貼らないなど。 ・予定などは絵カードを使って、始まりと終わりが分かりやすいようにしている。ただ、バリアフリー化はできていない。	・交通量の多い入り口前の階段など、安全面での改善があるとより良いと思います			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎日清掃を行っている。				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			個室の環境はない。			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・毎日の朝礼で個人のやることを発表、支援のふりかえりとこれからのをみんなで考えている。 ・朝礼が事例検討になっている。				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○						
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・毎日の朝礼で話し合いをしている。	・1人1人の得手不得手や、業務負担を話しやすい環境である。しかし、人的物的経済的に改善は難しい。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○						
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・研修に参加できている。	・研修の数が多くて業務が滞ることがある。			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・複数の指導員や専門職員が検討しながら、深めることが出来ている。				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・アセスメントシートは毎年データを取らせてもらっている。				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○						
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○						
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○						

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		職員ミーティングを通して共有されている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要な場合連携できるように努めています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		定期的に見学に伺い情報共有をさせてもらっています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	○			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		イベント時に声をかけ利用者以外のお子様も参加してもらっている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者会を開催している。	

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			